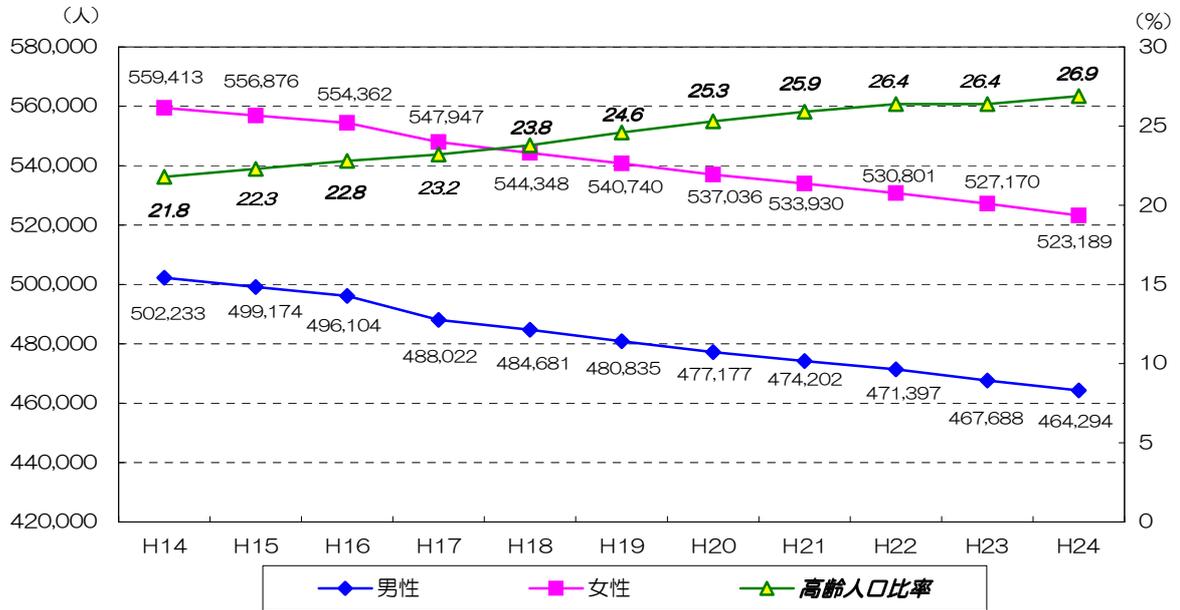


1 人口・人口動態

(1) 県の男女別人口と高齢人口比率の推移

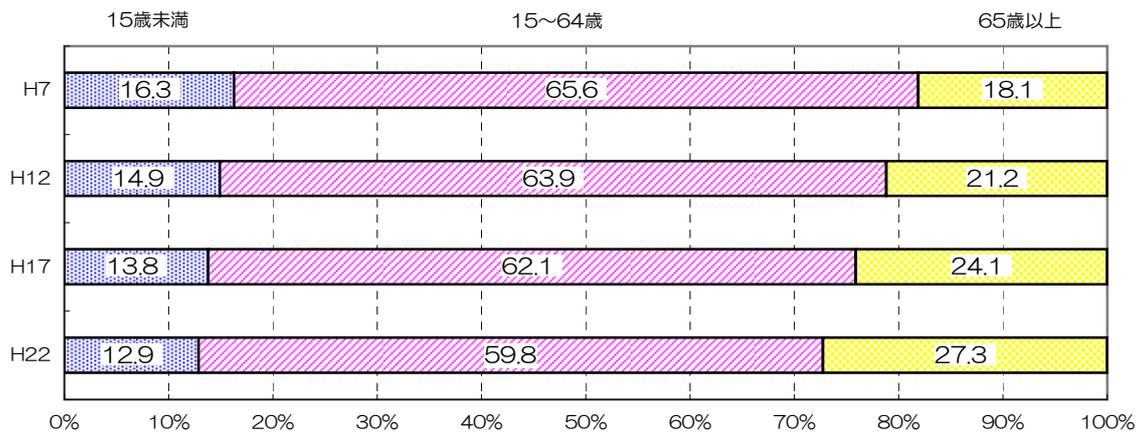


資料：総務省「国勢調査」(H17年、H22年)、その他は和歌山県「県人口調査」(10月1日現在)
「和歌山県における高齢化の状況」(各年3月31日現在の住民基本台帳人口)

★ポイント★

- ◇ 平成14年から24年の10年間で、男性人口は、37,939人、女性人口は、36,224人減少している。
- ◇ 高齢人口比率は、平成14年から24年までの10年間で5.1ポイント増加し高齢化が進行している。

(2) 県の年齢(3区分別)人口割合の推移

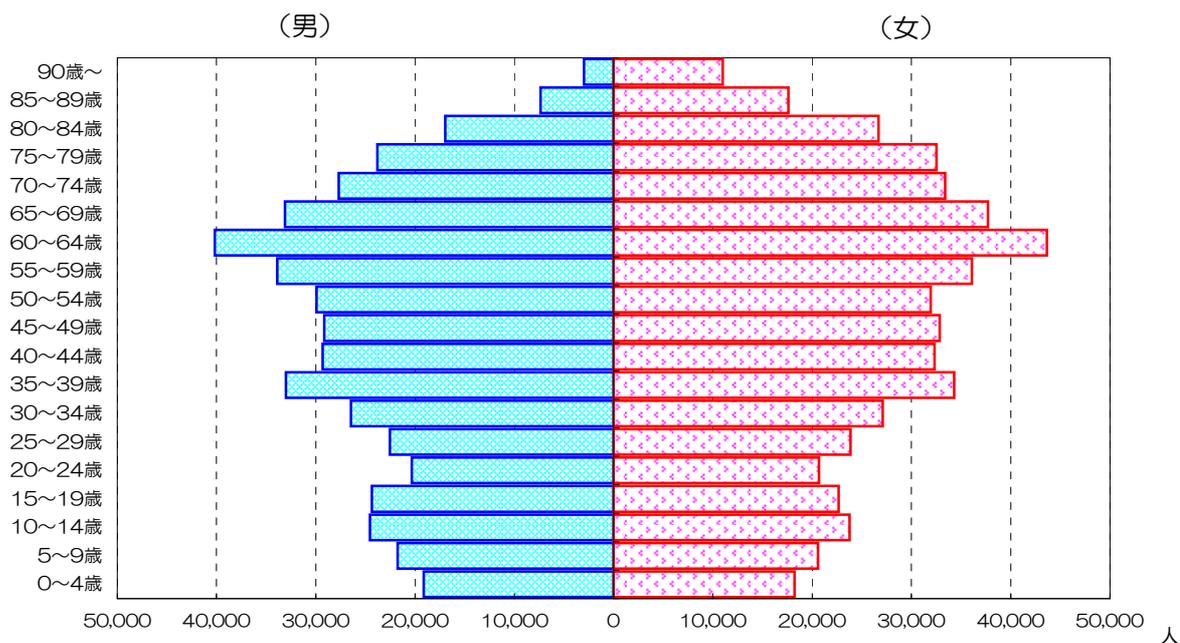


資料：総務省「国勢調査」H22年

★ポイント★

- ◇ 平成22年の年齢3区分別人口の割合は、15歳未満が12.9%(全国平均13.2%)、15~64歳が59.8%(全国平均63.8%)、65歳以上が27.3%(全国平均23.0%)となっている。
- ◇ 全国平均よりも15歳未満、15~64歳の割合が低く、65歳以上の割合が高くなっている。

(3) 県の年齢別人口(和歌山県の人口ピラミッド)



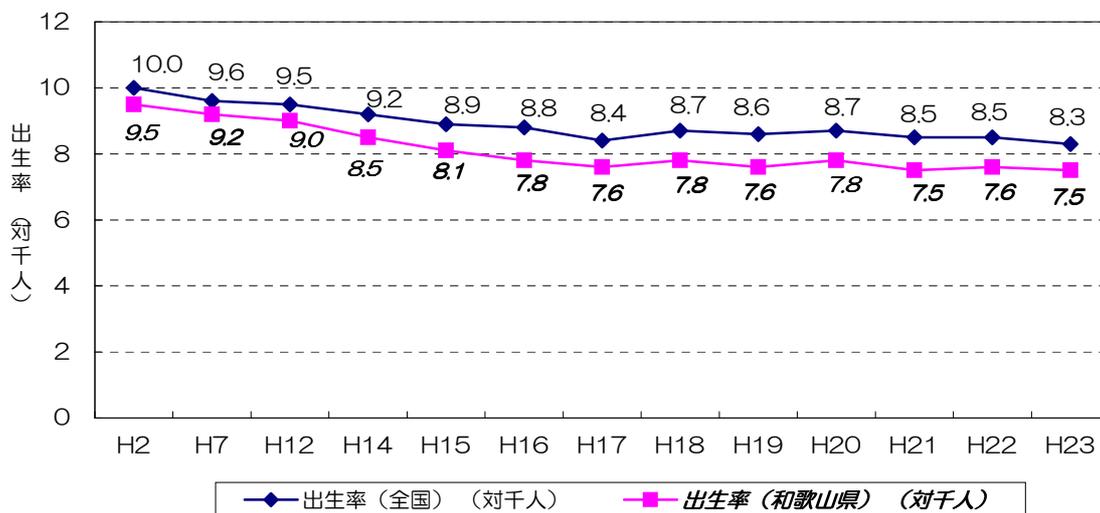
資料:総務省「国勢調査」H22年

★ポイント★

◇ 平成22年の和歌山県の人口を年齢別にみると、60～64歳の人口が男女とも一番多く、50歳未満では、35～39歳の人口が多くなっている。

(4) 県の出生率、合計特殊出生率の推移

◆ 出生率



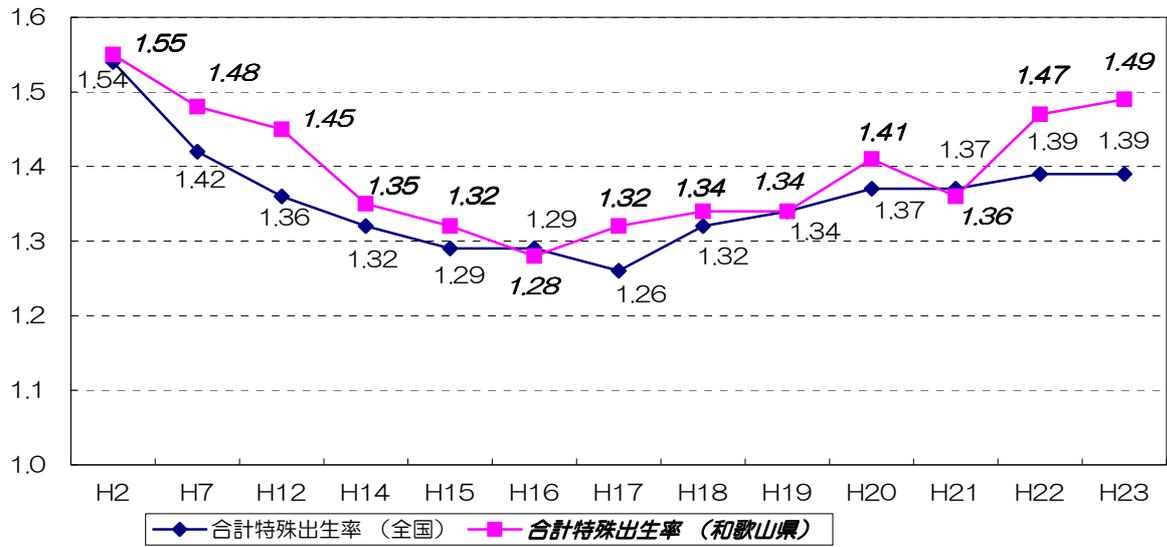
※ 出生率: [(年間の出生件数) / (10月1日現在日本人人口)] × 1,000

資料:厚生労働省「人口動態統計」H23年

★ポイント★

◇ 平成23年の出生率(対千人)は、全国で8.3となり、0.2ポイント、和歌山県では7.5で0.1ポイント前年よりも減少した。

◆ 合計特殊出生率



※ 合計特殊出生率: 15歳から49歳までの女性に限定し、各年齢ごとの出生率を足し合わせ、一人の女性が生涯、何人の子どもを産むのかを推計したもの

資料: 厚生労働省「人口動態統計」H23年

★ポイント★

- ◇ 平成23年の和歌山県の合計特殊出生率は、22年から0.02ポイント増加し1.49となり、全国よりも0.1ポイント高くなっている。